

兵庫県立大学学生災害復興支援団体LANと岩手県立大学防災復興支援センター学生団体FROMの交流会を開催しました。

2025年3月6日 開催

キーワード：地域防災、防災教育、人材育成

開催場所：岩手県立大学アイーナキャンパス（岩手県盛岡市）

2025年3月6日（木）、岩手県立大学アイーナキャンパスにて、兵庫県立大学学生災害復興支援団体「LAN」メンバー10名と、防災復興支援センター学生団体「FROM」メンバー13名による交流会が開催されました。

LANは、東日本大震災津波をきっかけに発足した団体で、福島県相馬市での災害復興支援活動を現在も続けながら、地域での防災イベントも積極的に取り組んでいます。今回、岩手県東北・沿岸振興室が同団体に対し、岩手県内での防災学習をコーディネートし、FROMとの交流が実現しました。

交流会では、お互いの活動内容紹介やFROMメンバーによる被災体験講話の後、両メンバー混合のグループに分かれ、『地域の防災力を高めるために、学生団体「だから」できること』というテーマのもとディスカッションを実施し、各グループで話し合った内容を発表しました。ディスカッションでは、若者や子どもたちにも親しみやすく防災意識を伝えられること、人の入れ替わりがあるからこそ新たな意見を継続的に取り入れられること、そして学生ならではの視点で防災情報を発信できることなど、多くのアイデアが出されました。

今回の交流会は、発足からまもなく1年となるFROMにとって、発足から10年以上の歴史あるLANの皆さんから多くを学び、今後の活動につながる大変貴重な機会となりました。

岩手県立大学防災復興支援センターは、今後もさまざまな地域・団体の皆様のお力添えをいただきながら、次の災害に備えた地域防災の担い手育成に努めて参ります。

■概要：

- (1) 日時 2025年3月6日 9：00～11：30
- (2) 会場 岩手県立大学アイーナキャンパス 学習室1



写真1 LAN×FROMの交流会参加メンバー



写真 2・3 各団体の取組紹介及び、被災体験談の様子

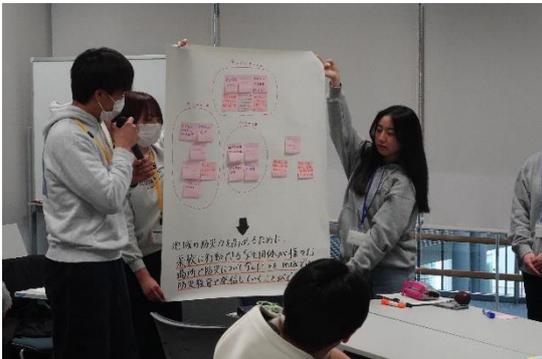


写真 4～7 ディスカッションと発表の様子